

山梨県での豚熱発生に係る
防疫対策連絡会議
(持回り開催)

開催日：令和3年5月12日（水）

出席：知事、危機管理局、
生活環境部、農林水産部

会議内容

- 1 豚熱の国内発生状況
- 2 山梨県における豚熱発生概要
- 3 鳥取県の対応状況
 - (1)山梨県の発生事例に対する鳥取県の対応
 - (2)今後の豚熱防疫体制
- 4 お願い

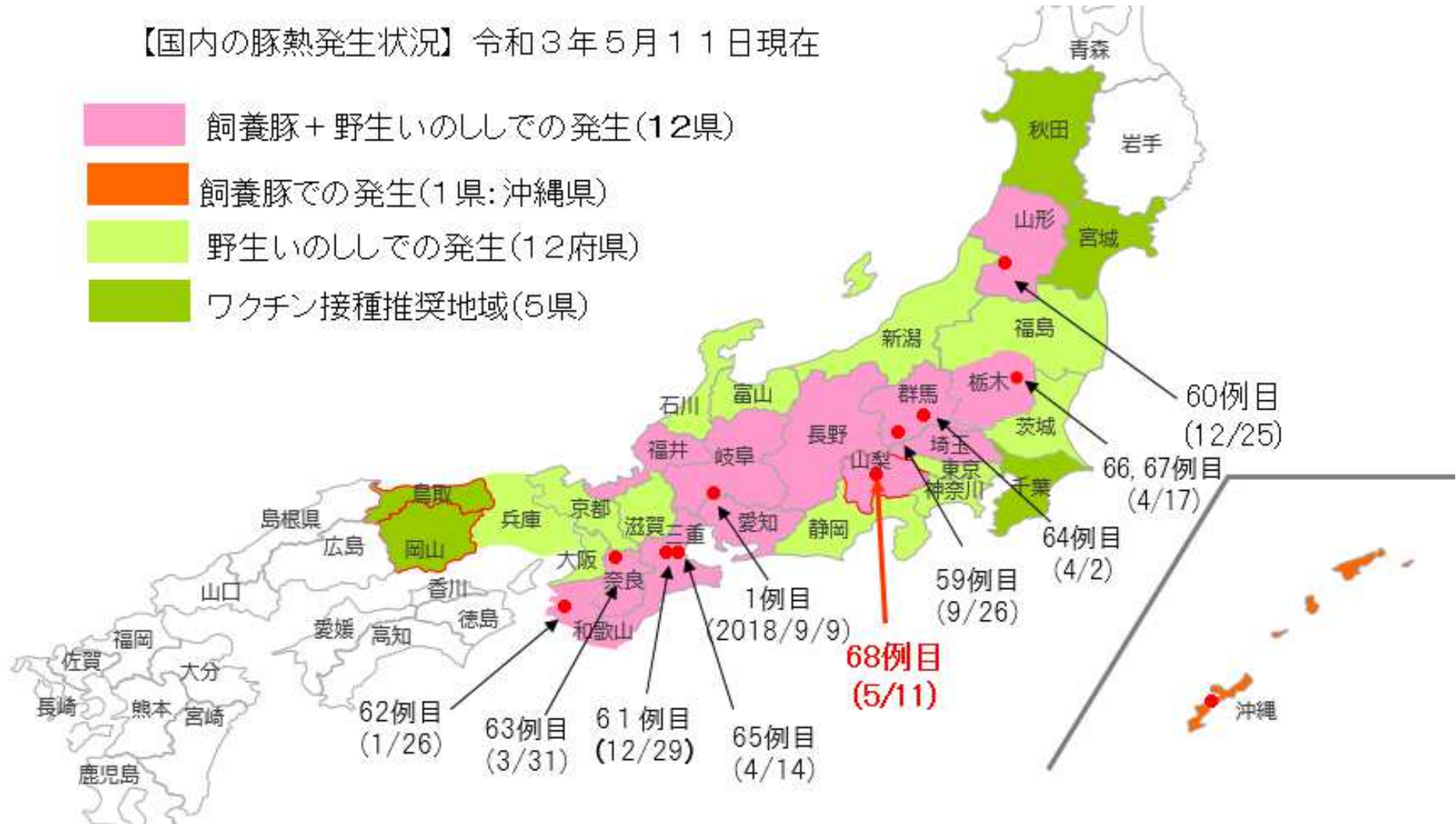
国内発生状況

- 1 平成30年9月9日、岐阜県養豚農場で発生(1例目)し、令和3年1月にかけて岐阜県、愛知県、長野県、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県、山形県及び和歌山県で発生。今年3月以降も、奈良県、群馬県、三重県、栃木県(2農場)で発生。
- 2 野生いのししの感染は24都府県に拡大しており、西日本では令和3年3月16日に兵庫県丹波市の死亡いのしし2頭で初確認。

豚熱が確認された都府県

【国内の豚熱発生状況】 令和3年5月11日現在

- 飼養豚 + 野生いのししでの発生(12県)
- 飼養豚での発生(1県: 沖縄県)
- 野生いのししでの発生(12府県)
- ワクチン接種推奨地域(5県)



豚熱の国内発生状況(飼養豚)

	発生地	畜種	発生日	飼養羽数	防疫措置完了日	その他
1~58	岐阜、愛知、長野、三重、福井、埼玉、山梨、沖縄	豚、いのしし	H30. 9. 9~ R2. 3. 12	138, 527頭		
59	群馬県高崎市	豚	R2. 9. 26	5, 887頭	R2. 10. 9	
60	山形県鶴岡市	豚	R2. 12. 25	1, 250頭	R2. 12. 29	
61	三重県伊賀市	豚	R2. 12. 29	7, 026頭	R3. 1. 7	
62	和歌山県かつらぎ町	豚	R3. 1. 26	267頭	R3. 1. 29	
63	奈良県奈良市	豚	R3. 3. 31	1, 089頭	R3. 4. 3	
64	群馬県前橋市	豚	R3. 4. 2	9, 970頭	R3. 4. 16	(関連1農場含)
65	三重県津市	豚	R3. 4. 14	約10, 000頭	R3. 4. 23	
66	栃木県那須塩原市	豚	R3. 4. 17	17, 266頭	作業中	(関連1農場含) 殺処分は終了
67	栃木県那須塩原市	豚	R3. 4. 17	22, 096頭	作業中	殺処分は終了
68	山梨県中央市	豚	R3. 5. 11	2, 523頭	作業中	

豚熱の国内発生状況(野生いのしし)

野生いのししでの検出状況(令和3年5月5日現在
農水省調べ) →陽性例は24都府県で確認

県名	陽性確認頭数	検査頭数
山形県	2頭	202頭
福島県	18頭	231頭
茨城県	12頭	1,155頭
栃木県	20頭	705頭
群馬県	116頭	2,164頭
埼玉県	118頭	1,237頭
東京都	9頭	131頭
神奈川県	22頭	880頭
新潟県	37頭	399頭
富山県	80頭	625頭
石川県	48頭	641頭
福井県	130頭	1,315頭

県名	陽性確認頭数	検査頭数
山梨県	69頭	356頭
長野県	267頭	1,172頭
岐阜県	1,209頭	5,442頭
静岡県	308頭	3,747頭
愛知県	139頭	2,481頭
三重県	361頭	4,089頭
滋賀県	257頭	1,250頭
京都府	48頭	302頭
大阪府	9頭	27頭
兵庫県	5頭	116頭
奈良県	29頭	303頭
和歌山県	60頭	424頭
合計	3,373頭	29,394頭

山梨県の発生事例の概要

1 農場の概要（国内68例目）

場 所：山梨県中央市

飼養状況：2,523頭

2 概要及び検査結果

5/10 農場から50日～60日齢の子豚25頭が死亡したと通報
家畜保健衛生所が立入検査

家畜保健所の遺伝子検査で陽性

5/11 農研機構動物衛生研究部門の精密検査を実施

国において患畜と判定（17時）

山梨県対策本部会議開催（18時30分）

（山梨県は令和元年11月から豚熱ワクチンの接種を実施）

3 対応状況

- 5月11日午後8時から防疫措置開始
- ワクチン接種地域のため移動制限、搬出制限は実施しない
- ワクチン継続接種、農場における飼養衛生管理遵守指導
- 野生イノシシの捕獲強化及び監視体制強化

国の対応状況

■ 5月11日(火)

- ・農林水産省豚熱、アフリカ豚熱対策本部会議の開催
- ・全都道府県へ情報提供
- ・飼養衛生管理基準の遵守、早期発見、早期通報徹底を通知
- ・山梨県へ国の疫学調査チーム派遣を決定

■ 国の野生いのしし対策

- ・捕獲強化対策(ワナ増設等)
- ・農場への侵入防止対策(侵入防止柵設置支援)、全国の都道府県対象
- ・経口ワクチン散布を23都府県で実施

山梨県の発生事例に対する鳥取県の対応

- 1 発生情報の周知(市町村、養豚農場、農協等関係機関)
(5/11)
- 2 県内養豚農場の状況確認と注意喚起(5/12)
 - 県内養豚農場といのしし農場に異常の有無等を電話聞取
⇒ 異常なし、山梨県の養豚農場との疫学関連無し
- 3 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
 - 農場出入口への消石灰散布の徹底を指示
(消石灰1,000袋を3/26までに追加配布済)
 - 侵入防止柵の点検、長靴の衣服の交換、車両消毒、早期通報等を再度徹底するよう指導
- 4 県境付近の野生いのししのモニタリングを強化
(検査頭数 R2年度 200頭→R3年度 300頭に増加)
 - 平成30年9月から令和3年5月10日までに県内全域で死亡、捕獲された野生いのしし345頭について全て豚熱陰性を確認。

今後の豚熱防疫体制

- 1 飼養豚、いのししへの豚熱ワクチン接種等
 - ・4月5日(月)～4月26日(金)に初回一斉接種実施済
 - ・繁殖豚等への補強接種及び生まれてくる子豚、導入豚への追加接種を実施中
- 2 ワクチン接種農場の抗体モニタリング実施(5月17日～)
- 3 ワクチン接種体制強化
県認定獣医師(民間獣医師)による接種体制の検討
- 4 飼養衛生管理基準遵守の指導実施中(4月～)
- 5 野生いのししへの豚熱経口ワクチン散布の準備中(5月～)

豚熱対応窓口

(24時間対応しています。)

■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240	(夜間休日は転送)
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341	(//)
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140	(//)

■豚熱に係る死亡いのししに関する通報窓口

畜産課	0857-26-7286	
	090-8061-9109	(休日、夜間)

■豚熱に係る野生いのししに関する相談窓口

緑豊かな自然課	0857-26-7979	(夜間休日は0857-26-7111)
中部総合事務所環境建築局	0858-23-3149	(夜間休日は守衛に転送)
西部総合事務所環境建築局	0859-31-9320	(夜間休日 0859-34-6211)

■平日夜間、休日、祝日相談窓口

県庁受付	0857-26-8663
------	--------------

お願い

- 豚熱は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることもありません。
- 今回使用する豚熱ワクチンは、医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき、農林水産大臣に承認され、有効性及び安全性が確認されており、豚熱ワクチンを接種した豚肉を食べても問題はありません。
- 野生いのししの検査状況から、県内に豚熱が浸潤している可能性は低いと考えられます。異常な死亡した野生いのししを発見した場合は、県畜産振興局畜産課まで連絡し、その指示に従ってください。
- 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に報道関係者の皆様におかれましては、養豚農場へ立ち入るような取材は防疫上ご遠慮ください。